

高音研 Concert+2013 遺愛講堂で開催！！

2月2日（土）15:00より、遺愛学院の講堂で道南地区高等学校音楽教育研究会の会員によるコンサート2013が開催されました。毎年開催されており、今年も11名の会員と3名の賛助出演があり、とても心和むコンサートでした。

オープニングは道南地区会長で函館西高校の安房校長でした。開会の挨拶の後、自ら即興でバッハをフルートで奏でました。数学がご専門ですが、趣味でジャズを嗜んでおり、本来はサックス奏者なのだそうです。

続いてお二人がソプラノ独唱、そして日本では珍しいオルガンデュオ、トロンボーン三重奏、最後に全員で混声四部合唱をしました。優しく心をこめて丁寧に歌われた『野ばら』『春に』アンコールの『心の瞳』は卒業式の季節にふさわしく、心の奥まで深く響き、感動した聴衆の皆さんからたくさんの拍手がありました。

少子化の影響もあり、高校に音楽専任教員を配置できない学校が増え、会員数も減少しているのだそうです。会員の先生方は「心を育てる音楽の授業は、大変重要である」という使命感を抱き、日々授業研鑽に励んでおり、その成果の発表会でした。2013年2月4日

